## 貧酸素水塊速報 (2021年)

【発行】〇 千葉県水産総合研究センター

神奈川県水産技術センター

千葉県農林水産技術会議 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター 第三管区海上保安本部 〇 東京都環境局 (国)国立環境研究所

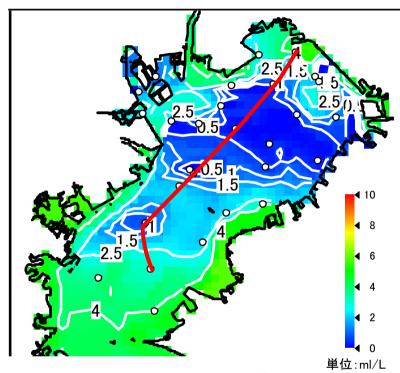
〇 モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局) (今回の速報は"O"の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和3年6月22日観測結果

及ぼすDOが1.5 ml/L未満の海域が川崎沖まで波及していました(図1)。

縦断ラインの鉛直分布をみると、川崎人工島北側において貧酸素水塊の厚みが 6mあり(図2)、規模は17.5%と直近10年平均より大きくなっていました(図3)。

水温は表層22~23℃,底層17~23℃でした。



底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

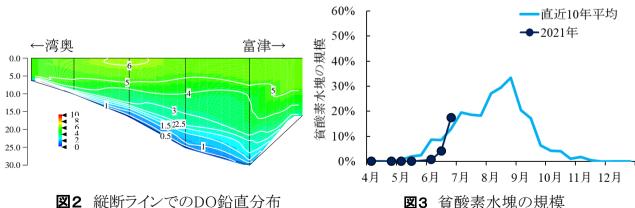


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

酸素飽和度	ヒ溶存酸素量(]	DO)の目安
	\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-	المل ملك

_ <u> </u>		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30~40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	